

ちょうふ

ISO 譜

第 27号 (14.3.5)

発行:環境保全課 ISO担当(内 7086)

新しいプログラムを御紹介します！

昨年 6 月の外部審査登録機関による定期審査後，環境管理委員会では，環境マネジメントシステムに新たに取り入れる部門展開プログラムを検討して参りました。このたび，平成 14 年度から取組む新プログラムが決定したので御紹介いたします。今年度も残すところ 1 箇月を切りました。良い形で新年度のスタートが切れるように，今から準備を進めてください。

全部門で取組むプログラム

No.	該当部署	目的	具体的な取組内容
1	全部門	無駄な紙の削減	庁用封筒等に ISO14001 ロゴマークを印刷し，環境保全取組の啓発を推進する。
2	全部門	無駄な紙の削減	事務連絡における庁内 LAN の活用。
3	全部門	無駄な紙の削減	各所属ごとに，裏紙収納箱を誰もが使用しやすいように設置する。
4	全部門	無駄な紙の削減	パソコンで作成中の文書は，プリント前に画面で校正する。
5	全部門	電気使用量の削減	可能な限り昼休み中の OA 機器の電源をおとす。 ノート型パソコンは使用しないときは画面を閉じ節電状態にする。
6	全部門	電気・ガス使用量の削減	マイボットの持参を推進する。
7	全部門	燃料使用量の削減	自転車の保有台数を増やし，庁用車両の使用を減らす。 車両の使用にあたっては，車両管理規定第 7 条を遵守する。
8	全部門	省資源推進対策	カメラの購入に際しては，デジタルカメラを選定し，フィルム容器等の排出物を削減する。
9	全部門	省資源推進対策	庁舎内売店での購入については，不必要なものはもらわない。
10	全部門	環境配慮製品の購入	市が作成する窓付き封筒については，仕様書の記載事項を，従来の「プラ窓」から「グラス窓」等（100%再資源）に改善する。
11	全部門	環境配慮製品の購入	物品購入の契約に際しては，環境に配慮した製品を指定し，リサイクル品の普及啓発を推進する。

該当部門で取組むプログラム

No.	該当部署	目的	具体的な取組内容
1	政策調整担当 行財政改革担当	—	今後の施策展開に当たって，環境側面への影響を評価するしくみを検討する。 特に，現在実施している事務事業評価との連携を考慮する。 また，実施計画等の策定過程への組み込みも検討する。
2	広報担当	化学物質等の管理	使用後の現像液については，廃液処理業者に依頼し適正な処理をする。
3	契約課	環境配慮製品の購入	エコマークやグリーンマーク商品カタログリストの最新版をライブラリに登載する。
4	市民課	環境配慮製品の購入	印鑑登録・市民カードの素材を新規購入時より，環境に配慮した低公害のカードに切り替えを行う。
5	産業課	リサイクルの推進	農家において生じる枝葉・つる等の農業残渣の処理については，チップ化し堆肥にするため機材を供用する。
6	環境保全課 緑と公園課	リサイクルの推進	市内公遊園のせん定枝葉等のチップについて，公遊園への還元，農業者への配付等を通し，緑を循環的に活用する。
7	交通安全対策課	電気使用量の削減	街路灯を高効率ランプに切りかえることにより，電気使用量を削減する。